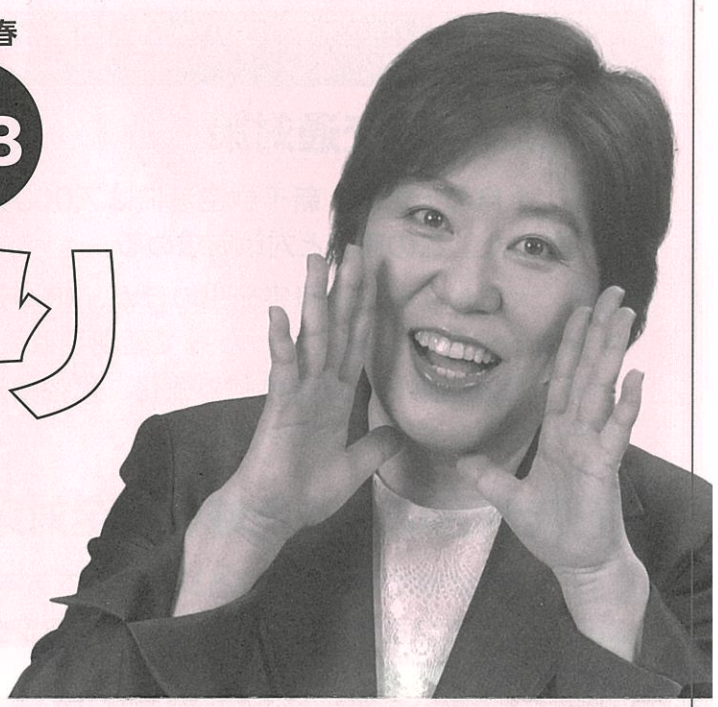
北海道議会議員

2026春

小林ちよみ vol.8 道政だより



発行：小林ちよみ道政事務所　千歳市錦町２丁目23-1

●この道政だよりはポスティング、チラシ折り込み、郵送でお届けします。

2026年度予算 3兆1,681億円

北海道議会３月議会で2026年度予算が成立しました。

一番のポイントは「道民生活応援ポイント給付」。道民全世帯に食料品等の購入に利用できるデジタルポイント5,500円分が給付される事業ですが、課題がふたつ。ひとつは世帯当たり5,500円で１人当たりではないこと。もうひとつはアプリにマイナカードを紐付けて申請しますが、スマホやマイナカードを持たずアプリ申請できない世帯にはギフトカードの郵送となり、その場合5,000円になってしまうことです。

今後想定されるガソリン価格の高騰や一次産業における燃油費の上昇など、物価・エネルギー高に対する支援策が十分ではなく、生活者や小規模事業者への支援を求めるため、民主道民連合は予算の組みかえを求めました。



2026年度予算の主なもの

▶道民生活応援ポイント　168億円

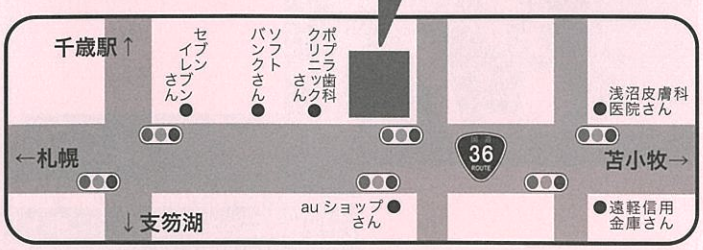
道内全世帯に１世帯当たり
5,500ポイント又は5,000円給付

▶中小企業賃上げ環境整備　54億円

賃上げする中小、小規模事業所を支援

▶こども誰でも通園制度　8億円

小林ちよみ道政事務所



●住所　〒066-0064　千歳市錦町２丁目23-1
●TEL　0123-21-9174　●FAX　0123-21-9176
●Mail　info@chiyomi.jp

お気軽にお立ち寄りください

3月議会の主な議論

雪害時の空港交通対策

質問　1月の大雪時、新千歳空港には7,000人が滞留した。この原因と対策を求める。

答弁　大雪による交通障害発生のほか、JRの運行再開予定時刻が数度にわたって延期された。今後、関係機関との連絡体制の強化、代替輸送手段の改善などに取り組む。

交番統廃合による地域の安全対策

質問　交番は地域の安全を守るシンボルである。統廃合などで交番がなくなる地域における安全対策を求める。

答弁　交番統廃合などによる不安を解消するため、住民説明会などで丁寧な説明を尽くすとともに、これまで以上に巡回連絡やパトロールの充実などで制服を見せる活動を推進する。

ラピダス効果を全道へ

質問　関連産業も集積し、千歳・恵庭・苫小牧では新しい工業団地造成もされる。この経済効果を全道にもたらすための道の積極的な取り組みを求める。

答弁　全道各地でAI計算基盤を活用し、多様なユースケースを生み出していく。地域の中小・小規模事業者とのマッチングを行い、実証事業等への財政的な支援等に取り組む。

4月から始まる宿泊税

質問　4月から始まる宿泊税。旅行者の利便性向上や、地元住民とのあつれき解消など、適切に使ってほしい。

答弁　道の宿泊税は「観光サービスの充実」「旅行者の受益」「対象が市町村をまたぐ広域的な事業」をルールとして使う。



写真で見る小林ちよみの活動



デフリンピック
卓球 銀メダリスト
木村　亜美さんと
（北広島市）



奥尻島を視察



小平町
和牛繁殖センター視察



公立千歳科学技術大学
学位記授与式